特許協力条約

REC'D 2 8 M37 2005

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人 のむ類記号 PC-9100	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。						
国際出願番号 PCT/JP2004/014443	国際出願日 (日.月.年) 24.	09. 2004	優先日 (日.月.年) 25.	09. 2003			
国際特許分類(I P C) Int.Cl. H04S7/00,	H04R1/34						
出願人 (氏名又は名称) ヤマハ株式会社							
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の			備審査報告である。				
2. この国際予備審査報告は、この衷紙を含めて全部で 3 ページからなる。							
3. この報告には次の附属物件も添付される。 a.	-	ప.					
□ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)							
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
 b. □ 電子媒体は全部で			(電子媒体の)種類、数を示す)。			
配子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表と関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)							
4. この国際予備審査報告は、次の内容							
 第 I 栩 国際予備審査報告の基礎 第 II 栩 優先権 第 II 栩 優先権 第 II 栩 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 IV 栩 発明の単一性の欠如 「第 V 栩 P C T 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI 栩 ある種の引用文献 							
. 第VI欄 国際出願の不 第VI欄 国際出願に対							
国際予備審査の請求書を受理した日		国際予備審査報告を					
24. 09. 2004			11. 2005				
名称及びあて先		特許庁審査官(権図		5 Z 8 7 3 3			
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JF	')	特許庁審査官(権限 志摩 兆一		5Z 8733			
	•			5 Z 8 7 3 3			

第I	栩	報告の基礎						
1	宣籍	に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。						
		出願時の言語による国際出願						
		出願時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文						
		□ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))						
		□ 国際公開(PCT規則12.4(a)) □ 国際予備審査(PCT規則55.2(a) 又は55.3(a))						
2.	2. この報告は下記の出願む類を基礎とした。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)							
	V	出願時の国際出願書類						
		明細杏						
		第ページ、出願時に提出されたもの						
		第 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
		第 ページ、出願時に提出されたもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
		請求の範囲						
		第 項、出願時に提出されたもの						
		第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備率を機関が受理したもの						
		第 項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
		第 ページ/図 、 出願時に提出されたもの						
		第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
		第 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
l		配列表又は関連するテーブル						
		配列表に関する補充概を参照すること。						
1								
3.	I	う 補正により、下記の <u>魯類が削除された。</u>						
		□ 明細書 第						
		 請求の範囲 第 項 ページ/図						
Į								
		□ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) □						
	_] この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を起						
*	· l.	えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))						
1		□ 明細杏 第 ページ						
1		□ 請求の範囲 第						
1		「 図面 第 ペーシノ図						
		□ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)						
		町の文に関連する/一ノル(米仲間に記載すること/						
1	4 .	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。						
'	* 4.	に該当する場合、その用紙に superseded と記入されることがある。						

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/014443

第V概 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条(PCT35 条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明						
ľ	1. 見解					
	新規性(N)	請求の 範 請求の範	囲 <u>1-4</u>	有 無		
	進歩性 (I S	•	囲	有 無		
	産業上の利用	月可能性 (IA) 請求の錠 請求の錠	囲 1-4	有 無		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

引用文献 1 JP 6-178379 A(ソニー株式会社) 1994. 12. 10

特許請求の範囲1-4にかかる発明について

引用文献1には、指向性の鋭いスピーカから放射した音声を視聴者の後方の音響反射板で反射させて、後方に リアスピーカを配置したのと同じ効果を持つサラウンド方式ステレオ再生装置において、スピーカとして映像表 示部の左右に第のスピーカを配置し、その近傍に指向性の鋭いスピーカを配置し、これらのスピーカからの音声 によりサラウンド効果を得られるようにしたものが記載されている。

特許請求の範囲1-4にかかる発明と引用文献1に記載された発明を比較すると、特許請求の範囲1-4にかかる発明は、視聴位置において、所望の音響特性を有するように、指向性スピーカに入力される音声信号の周波数・ゲイン特性、周波数・位相特性、及びゲインのうち少なくとも一つを補正するようにしているのに対し、引用文献1には、このような補正をするか否かについて記載されてない点で異なり、それ以外の点では特許請求の範囲1-4にかかる発明と引用文献1は一致している。

しかし、視聴位置において、所望の音響特性を有するように、指向性スピーカに入力される音声信号の特性を補正することは当業者が実施にあたり適宜選択しうる事項である。

したがって、特許請求の範囲 1-4 にかかる発明は、引用文献 1 に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明できるものである。